

平成 19 年 4 月 2 日

各 位

関東テニス協会ジュニア委員会  
委員長 榎本 正一  
行事部会長 富岡 好平

## ジュニア大会「ダブルエントリー規定」変更のお知らせ (ダブルエントリーとなった場合の取り扱いについて)

### ジュニアランキング制度改定の主旨

- ・ 全国で活躍できる選手の育成と底辺拡大を目的とし、大会を育成・強化の場として活用し、選手がより多くの大会に出場できるものとする。
- ・ ポイント対象大会として評価されていなかった小・中・高校の大会をポイント対象大会とする。
- ・ ポイント、大会グレードのしくみをわかりやすくして、出場大会を選んだり、選手自身が取得ポイントを確認できるようにする。
- ・ 18 歳以下全体のランキングとして、12 ヶ月の成績により取得した上位 5 大会の合計ポイントによりランキングし、再チャレンジできるシステムとする。

### ダブルエントリーの禁止

大会の申し込みをする時は、基本的に同一期間内に開催される大会にはエントリー(ダブルエントリー)するべきではありません。「選手として出場したからには、最後まで全力を出して戦う」ことはあたり前ですので、はじめから出場できなかつたり、途中できけんをしなければならなくなる様な申し込みの仕方は、大会主催者や対戦相手に大きな迷惑をかけることとなります。

### 冬の大会が終わっての現状

各大会への参加者は増え、選手は数多くの大会を経験することができました。

しかしエントリー(申し込み)の取り消し、出場辞退、途中きけんの選手が大変多くなり、選手へのペナルティーとともに、主催者・対戦相手をはじめ大会関係者に大きな迷惑をかける結果となりました。

また、今回のダブルエントリー規定は、ランキング上位選手にとっては大会出場の機会が多い反面、初心者が出場できる機会が少なくなるという現象もおきました。

規定の内容については、協会関係者、指導者及び選手の理解度に差があり、反省点となりました。多くの方々にご迷惑をおかけしたことはおわびいたします。

### ダブルエントリーとなった場合の取り扱いの変更

関東テニス協会ジュニア委員会では、12 月より議論を重ねた結果、ダブルエントリー規定(参照:ハンドブック 2006.10.1 改訂版またはジュニアニュース第 3 4 号)の変更と取り扱いについて下記のように決定いたしました。

「ダブルエントリーは選手として本来してはいけない」という精神は当然ですが、「違反=そく処分」ではなく、当分の間公認大会の整備とともに、ダブルエントリー規定を理解していただくことに時間をかけることとし、次の通り変更いたします。

テニスハンドブック(2006年10月1日改訂版)の中の、4.ダブルエントリーについて  
(ジュニアニュース第34号 P13 ダブルエントリー規定)

1. ダブルエントリー規定

(1)変更する規定

「予備日は試合(大会)日程に含む」 変更 「予備日は試合(大会)日程に含まない」

(2)実行しない規定

「ダブルエントリーとなった場合の扱い」

ダブルエントリーとなった選手は協会ホームページに公表するとともに下記の処分を受けます。

ダブルエントリーとなった両大会ともに0ポイントとした上で、年間ランキング対象合計大会数を4大会とする。

2回目は同様に0ポイントとし、対象合計大会数を3大会とする。

3回目は1年間大会出場停止とする。

2. 変更月日 平成19年6月1日以降に開催(スタート)される大会より適用する。

3. ポイント計算の変更

(1)大会に申し込みをしたが、全く出場しなかった場合は、理由を問わずすべて「0ポイント」とします。

(2)大会に出場しながら「途中きけん」し、「他の大会に出場できるようになった」、「他の大会に出場する」ようなケースでは、出場した両大会のそれまでのポイントは与えられます。ただし、何度も行なったり、目にあまる選手・団体には、指導を行なう場合もあります。

4. 平成19年5月末日までにダブルエントリーの対象となった選手について

(1)ダブルエントリーとなった大会のポイントは、今まで通り「0ポイント」とします。

(2)ポイント対象大会数について

4月よりポイント対象大会が現在の上位3大会から上位5大会の合計ポイントとなりますが、ダブルエントリーを1回した選手は、4月・5月発表のランキングは、上位4大会の合計ポイントとし、6月末日発表のランキングから、上位5大会にもどします。

ダブルエントリーを2回以上している選手は、4月・5月発表のランキングは、上位3大会の合計となり、6月末日発表ランキングから上位4大会とし、平成20年1月末時点で5大会にもどします。

選手・指導者・保護者の方へお願い

大会への出場が不可能になったり、途中きけんとなるような申し込みは「選手として行なうべきではない」ということを理解してください。関東テニス協会としても、大会の整備・調整は進めていきますが、各団体指導者、保護者の方々にはあらためて選手へのご指導をお願いいたします。

ジュニアプレイヤーの皆さん、このお知らせを指導していただいているコーチや先生、保護者の方にも読んでいただけてください。